

研究テーマ：読む意欲と力を向上させるための指導の工夫

所属 高知東工業高校
氏名 濱川 美香
R G S H 2

1 研究の背景

対象クラスは機械科、電子科、電子機械科の生徒による選択英語の授業で、英語を選択しない生徒は工業系の選択科目を履修するしくみとなっている。この科目は2, 3年次各2単位の分割履修である。3年次では他に必修科目としてOCAを履修している。

授業に対する基本的な姿勢は定着しており、落ち着いた雰囲気の中で授業を進めることができる。しかし一方で、基本的な語彙や語順が定着していないこと、自力で英文を理解しようとする気持ちが弱く、受動的な姿勢が目立つことがあげられる。英語の苦手な生徒が多く、また全員が直接進学試験に英語を必要としているわけではないが、工業を専門とする彼らは、卒業後も進学先、就職先で情報処理などにおいて英語に触れる機会はあると考えられる。そのような際に英文を積極的に読み、必要な情報を手に入れようとする姿勢を身につけてもらいたいと思う。

2 リサーチクエスト

基本的な語彙や語順を身につけ、未知の英文を積極的に読んで理解しようとする姿勢を持たせるにはどうしたらよいか。

3 予備調査

(1) アンケートの結果

- ・約7割の生徒は英語が必要と感じてこの授業を選択しているが、残りの生徒は工業系の科目を選択するのが嫌だという理由だった。
- ・家庭学習は約7割の生徒がほとんど0時間である。
- ・教科書の英文をどのくらい自力で理解できるか。---7割の生徒が50%以下
- ・既習の単語、熟語について---7割の生徒が半分以下しか覚えていない(6名は30%以下)
- ・本文に出てきた単語テストを行った結果については7割の生徒が単語力をつけるのに役立ちそうだと答えた。

(2) 授業観察の結果

全体に向けての導入の質問の時からなかなか答えが出てこない。語彙シートを使っている作業は真面目に取り組むが、進度は遅い。授業後のアンケートでは語彙シートを使って本文を積極的に読めたという生徒は12名中4名だが、語彙シートが本文理解に役立ったという生徒は7名だった。質問シートを使っての本文読解は比較的積極的に取り組んでいる様子で時間はかかるが、正答が多かった。質問シートを使って積極的に本文が読めたかという問にはほとんどの生徒が「まあまあ」と答えた。質問シートが本文を理解するのに役立ったかという問には7名が「はい」と答えた。以上の結果から、ワークシートは本文読解の手助けにはなっているが、まだまだ積極的に英文を読もうという意識が低く、課題をこなすのに時間がかかるようである。

(3) 英語力を示すデータ： 英検3級の読解問題を使って行った。

<結果>

(満点10点(1問1点、制限時間20分))

点数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
人数	0	1	2	2	3	1	0	2	1	0

(4) 文献研究

佐野正之他著「基礎能力をつける英語指導法」(大修館)の「読むこと」の章において"Reading for language"と"Reading for information or pleasure"両方の重要性について確認した。

4 仮説の設定

- 仮説1. 英文を読む前にワークシート(日本語の語彙シート、質問シート)を与えて、その内容に留意しながら読解をさせると、英文を読む意欲、理解度が増すのではないかな。
- 仮説2. 中学校、英で学習した単語を復習することで基本的語彙の定着が図れるのではないかな。
- 仮説3. 本文の内容を理解した後、フレーズリーディングを行えば、語順の定着やフレーズ読みにつながるのではないかな。
- 仮説4. ある程度の制限時間を設けて読んだ英文を要約させる習慣をつければ、英文を読むことにさらに慣れ、skimmingのスキルも身に付くのではないかな。

5 計画の実践

- 仮説 1 . 毎回ワークシートを与えて、制限時間を決めて英文を読ませる。授業後は回収し、達成度を確認する。
- 仮説 2 . 教科書の巻末リストから、週一回例文を含めたハンドアウトを使って行う。(10～15語程度)
- 仮説 3 . 本文の内容を理解したのち、まず教師の範読を聞きながら本文を目で追い区切れごとに斜線を入れさせ、その後一斉、個別読み。
- 仮説 4 . 上記の 1～3 を 2 ヶ月程度行った後、制限時間を設けて要約に取り組む。

6 実践の結果

- 仮説 1 . 回を重ねるにつれてワークシートを使って自分で読んでみる姿勢が少しずつできてきたのではないと思う。しかし声がけをしないと消極的な生徒も少数見られた。
- 仮説 2 . 予想以上に基本的な語彙が身に付いていない、忘れてしまっているということがわかった。きちんと習得していた(忘れていなかった)単語は毎回 3, 4 個程度という生徒がほとんどだった。
- 仮説 3 . フレーズ読みの考えは理解し、生徒も音読は嫌いではないようで、だんだんと声のでるようになった。しかし読解力向上にどこまでつながったか明らかでない。
- 仮説 4 . 完全な要約を書かせるということはほとんどできなかった。かわりに各段落の最初の文を読んで main idea をつかませることに取り組んだ。生徒にとっては難しかったようだが、時おり正解を言える生徒も出てきた。

7 結果の検証

- (1) 読解テスト：予備調査で使った問題と同レベルの問題で行った。

< 結果 >

(満点 10 点 (1 問 1 点、制限時間 20 分))

点数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
人数	0	0	1	1	3	3	2	1	1	0

平均点は 5.2 から 5.9 へわずかながら向上し、低得点層が減少しており、英文を読むことに対する抵抗が多少は少なくなった印象を受ける。しかし高得点層の人数はあまり変わっていない。

- (2) 生徒へのアンケート (抜粋) (人数)

今学期、以前と比べて授業で積極的に英文を読もうとしましたか。

・ かなりできた (0) ・ できた (4) ・ まあまあ (5) ・ できなかった (3)

プリントがあることで積極的に読んでみようと思えましたか。

・ 思った (2) ・ 少し思った (7) ・ 思わなかった (3)

今学期に行った単語の復習は英語力の向上に役に立ったと思いますか。

・ 思う (3) ・ 少し思う (9) ・ 思わない (0)

単語の復習をやってみた感想 (自由記述)

・ だいが忘れていたので復習できてよかった。 ・ 覚えるのは大変だったが楽しかった。

・ わからない単語が分かって役立った。 ・ ほとんど忘れていた。 ・ など

フレーズ読みは英語を読む力を伸ばすのに役立ったと思いますか。

・ 思う (1) ・ 少し思う (6) ・ 思わない (5)

以前と比べると英文を読んで理解する力は伸びたと思いますか。

・ 思う (2) ・ 少し思う (7) ・ 思わない (4)

英語の文を読むのは楽しいと思いますか。

・ 思う (3) ・ 少し思う (4) ・ 思わない (5)

一学期とくらべて積極的に読もうとする姿勢、読解力は少しではあるが向上してと思われる。しかし、アンケートにも表れているように、「積極的に読もうとしなかった」、「読解力が伸びたとは思わない」などと答えた者も数名いる。

8 成果と今後の課題

- 1) 意欲、読解力とも一学期と比べて少しは向上したのではないと思うが、一方で「英語は難しい」と諦めている数名の生徒の意識をもっと高める必要がある。
- 2) 最終的にはワークシートの助けがなくても積極的に読もうとできるかの検証が必要である。
- 3) 既習語彙の復習はすぐに結果が見えることもあっておおむね好評であり、もっと早くから方法も工夫して行うべきだと感じた。回数も不十分で本格的な底上げにつながっていない。
- 4) フレーズリーディングなどの音読指導をもっと研究し体系的に行い、読解力の向上につなげたい。

